

大学番号：250

注3

認可

[平成26年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

京都看護大学 看護学部 看護学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人京都育英館
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務部

職名・氏名 フォフ 部長 カリヤ タイジ 僚二

電話番号 075-311-0123

（夜間） 090-2286-1217

F A X 075-311-2002

e-mail t_kariya@kyotokango.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人京都市育英館

(2) 大学名

京都看護大学

(3) 大学の位置

〒604-8845

京都府京都市中京区壬生東高田町1-21

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(マツオ ヒデタカ) 松尾 英孝 (平成25年10月31日)		
学長	(トヨダ クミコ) 豊田 久美子 (平成26年4月1日)		
学部長	学長兼任		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	4年	95人	10人 3年次	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	95 () []	- () []	95 () []	- () []	95 (10) []	- () []	- () []	- () []	1.23倍	
志願者数	379 () []	- () []	421 () []	- () []	401 (3) []	- () []	- () []	- () []		
受験者数	347 () []	- () []	406 () []	- () []	390 (3) []	- () []	- () []	- () []		
合格者数	160 () []	- () []	193 () []	- () []	183 (3) []	- () []	- () []	- () []		
B 入学者数	114 () []	- () []	121 () []	- () []	127 (2) []	- () []	- () []	- () []		
入学定員超過率 B/A	1.2		1.27		1.22					

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) <u>113</u>	[-] (-) -	[-] (-) <u>120</u>	[-] (-) -	[-] (-) 127	[-] (-) -	[-] -	[-] -	2名については、1年次に休学していたものである。 13名については、3年次の臨地実習科目の受講要件をクリアしていないので留年とする。 115名の中には編入学生2名含む。
2年次	<u>114</u>	<u>121</u>	[-] (-) 113	[-] (-) -	[-] (2) 120	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
3年次					[-] (13) 115	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
4年次							[-] (-) -	[-] (-) -	
計	[-] (-) <u>113</u>	[-] (-) -	[-] (-) <u>233</u>	[-] (-) -	[-] (13) 362	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等 【該当なし】

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称、定員 【該当なし】

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
○○研究科 ○○専攻(○○課程) 修士(○○) 又は 博士(○○)	年	人	人	基礎となる学部等

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況 【該当なし】

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A								

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

【該当なし】

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[]	[]	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	114 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情	0.0087719 %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	121 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	家庭の事情	0.0082645 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	129 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	364 人	2 人					0.0054945 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	基礎ゼミ1	1前	1			3 4	4 6	4 7			質向上・負担軽減の理由により、 教員を追加(28) 担当 井上深幸(教授) 山岸千恵(准教授) 弓田洋子(准教授) 中堀裕代(講師) 平成27年7月 教員審査済 判定 可	
	基礎ゼミ2	1後	1			3 4	4 6	4 7				質向上・負担軽減の理由により、 教員を追加(28) 担当 中森美季(講師) 福田里砂(講師) 平成27年7月 教員審査済 判定 可
	クリティカルシンキング	2前	1								兼1	
	基礎英語コミュニケーション	1前	1			1					兼2	講義方法統一の理由により、専任 教授で対応(28) 選択科目の英語か中国語 から2単位を取得する
	中級英語コミュニケーション	1後	1			1					兼2	
	上級英語コミュニケーション1	2前		1		1					兼4	
	上級英語コミュニケーション2	2後		1		1					兼4	
	基礎中国語コミュニケーション	2前		1							兼1	
	中級中国語コミュニケーション	2後		1							兼1	
	医学・看護英語リーディング	4前		1		1					兼1	
	医学・看護英語語彙	4後		1		1					兼1	
	スポーツとコミュニケーション	1前		1							兼1	
	情報リテラシー	1前		1							兼1	
	暮らしの中の統計処理	1後		1							兼1	
哲学と倫理	1前		2							兼1	オムニバス 選択科目から6単位以上 取得すること	
死生学	4前		2							兼1		
芸術と感性	1後		2							兼3		
人間関係の心理学	1前		2							兼1		
生涯学習論	4後		2							兼1		
日常生活の科学	1前		2							兼1		
法からみる医療	4前		2							兼1	選択科目から6単位以上 取得すること	
経済からみる医療	4前		2							兼1		
現代社会のしくみ	1前		2		1							
家族とジェンダー	4前		2		1							
京都の文化と暮らし	1後		2							兼1		
異文化コミュニケーション論	1前		2							兼1		
専門基礎科目	健康論	1前	1				1					
	生命の科学	1前	1								兼1	
	微生物学	1前	1								兼1	
	形態機能学Ⅰ(解剖生理学)	1前	1								兼1	
	形態機能学Ⅱ(解剖生理学)	1後	1								兼1	
	形態機能学Ⅲ(生化学)	1後	1								兼1	
	栄養学	2前	1								兼1	
	病理学概論	1後	1								兼1	
	疾病と治療Ⅰ	1後	2								兼3	
	疾病と治療Ⅱ	2前	2								兼4	
	疾病と治療Ⅲ	2後	2								兼5	
	薬理学	1後	1								兼1	
	代替治療と癒し	4後		1		1	1	1			兼1	
	生涯発達論	1後	1					1				オムニバス 選択科目から1単位以上 取得すること
医療・看護倫理	1後	1			1	1						
臨床人間学	1後		1				1					
臨床心理学	1後		1							兼1		

専門基礎科目	医療コミュニケーション論	2前	1			2							オムニバス
	医療コミュニケーション論演習	2後	1			2							
	看護政策論	4後	1			1							兼1 兼1 選択科目から1単位以上取得すること
	公衆衛生学	2前	1			1							
	保健統計学	4前		1									
	関係法規	4前	1										
	社会福祉	1前	1			1							
社会資源コーディネート論	4前		1		1								
専門科目	看護学原論	1前	1			1							質向上・負担軽減の理由により、 教員を追加(28) 担当 髭坂由紀(講師) 平成27年4月 教員審査済 判定 可
	臨床実践と看護理論	4前	1			1							
	生活行動援助論Ⅰ	1前	1				2						
	生活行動援助論演習Ⅰ	1後	2				2	1	2				
	生活行動援助論Ⅱ	1後	1			1							
	生活行動援助論演習Ⅱ	2前	2			1	1	1	1	2			
	看護現象と看護診断	2後	1			1							
	看護過程論	2前	1			1							
	ヘルス・フィジカルアセスメント	1後	1			1	1						
	ケアリングコミュニケーション	3前	1			2							
	看護教育論	4前		1			1						兼1 兼1 オムニバス オムニバス オムニバス 一身上の都合で 講師就任辞退の理由により、後任補充 集中 (28) 担当 今堀智恵子(助教) 平成27年4月 教員審査済 判定 可
	看護リフレクション	3前	1				1						
	看護管理・経営論	4前	1			1	1						
	看護キャリア開発論	4後	1				1						
	医療安全	4前	1				1						
	災害看護論	4前	1						1				
	災害看護技術演習	4後		1					1				
	国際看護論	4前	1			1			1				
	看護技術強化演習	4後	1			4	8	8	5	6			
	在宅支援論	2前	2				1						
	在宅支援論演習	2後	2				1			1			
	家族支援論	2後		1			1			1			
	公衆衛生看護学	2後	1			1							
高齢者支援論	2前	2				1							
高齢者支援論演習	2後	2			1	1		1					
母性看護学	2前	2				1							
母性看護学演習	2後	2				1	1						
小児看護学	2前	2			1	1						兼1 質向上・負担軽減の理由により、 教員を追加(28) 担当 相山委都子(准教授) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 質向上・負担軽減の理由により、 教員を追加(28) 担当 笹谷絵里(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定 可	
小児看護学演習	2後	2			1	1		1					
急性期・周術期看護論	2前	1			1								
クリティカルケア論	2後	1			1								
急性期・周術期看護論演習	2後	1			1		1						
健康回復生活支援概論	1後	1			1	1	1						集中・オムニバス
生活行動回復看護論	2前	1			1							オムニバス 講師就任辞退の理由により、1名で担当 (27) 一身上の都合で講師就任辞退の 理由により、後任補充(28)	
生活行動回復看護論演習	2後	1			1	1	1						
セルフケア支援論	2前	1				1	4						
								1					
セルフケア支援論演習	2後	1			1	2	1						

専門科目	緩和ケア論	2後	1			1	1	1		担当 今堀智恵子(助教) 平成27年4月 教員審査済 判定 可 オムニバス 一身上の都合で講師就任 辞退の理由により、後任補充(28)
	精神看護学	2前	2			1				担当 今堀智恵子(助教) 平成27年4月 教員審査済 判定 可
	精神看護学演習	2後	2			1	1	1		共同
	生活行動援助論実習Ⅰ	1後	1			1	2	1	2	
	生活行動援助論実習Ⅱ	2前	2			1	2	1	2	
	在宅支援論実習	3通	2			1		1	1	
	高齢者支援論実習	3通	3			1	1	1	1	
	母性看護学実習	3通	2			1	1		1	
	小児看護学実習	3通	2			1	1		1	
	急性期・回復期看護論実習	3通	2			1	1		1	
	生活行動回復看護論実習	3通	2			1	1			
	セルフケア支援論実習	3通	2			1	2	1		一身上の都合で講師就任辞退の 理由により、後任補充(28)
	緩和ケア論実習	3後	1			1	1	1		担当 今堀智恵子(助教) 平成27年4月 教員審査済 判定 可 一身上の都合で講師就任辞退の 理由により、後任補充(28)
	精神看護学実習	3通	2			1	1	1		担当 今堀智恵子(助教) 平成27年4月 教員審査済 判定 可
研究科目	課題探求Ⅰ	4前	1			3				オムニバス
	課題探求Ⅱ	4通	2			7	8	8	1	一身上の都合で講師就任辞退 の理由による(28)
	総合実習	4前	1			2	8	5	6	一身上の都合で講師就任辞退の 理由により、後任補充(28)
	国際看護論実習	4前		1		1		1		担当 今堀智恵子(助教) 平成27年4月 教員審査済 判定 可

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
82	25	0	107	82	25	0	107	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用期間：31年 借用面積：8,911.77㎡					
	校舎敷地	8,231.77㎡	—㎡	—㎡	8,231.77㎡						
	運動場用地	680.00㎡	—㎡	—㎡	680.00㎡						
	小 計	8,911.77㎡	—㎡	—㎡	8,911.77㎡						
	そ の 他	—㎡	—㎡	—㎡	—㎡						
	合 計	8,911.77㎡	—㎡	—㎡	8,911.77㎡						
(2) 校 舎	専 用	6,418.54㎡	—㎡	—㎡	6,418.54㎡	大学全体					
	(6,418.54㎡)	(—㎡)	(—㎡)	(6,418.54㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	8 室	演 習 室	9 室	実験実習室	4 室	情報処理学習施設	0 室	語学学習施設	0 室	大学全体 (補助職員 一人) (補助職員 一人)
	新設学部等の名称		室 数		3 3		— 3 6		— 3 6		
(4) 専任教員研究室	看護学部 看護学科		3 3		— 3 6		— 3 6		— 3 6		大学全体 助手研究室を合同として 1室にした (26)
	看護学部 看護学科		3 3		— 3 6		— 3 6		— 3 6		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本				
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕					〔うち外国書〕	点	点	点
		看護学部	30,000 [786] 25,272 [786] (29,819 [229]) (25,272 [786])	393 [44] (319 [10]) (393 [44])	17 [17] (17 [17])	700 624 (655 624)	1,823 (1,823)	50 (50)	—		
		計	30,000 [786] 25,272 [786] (29,819 [229]) (25,272 [786])	393 [44] (319 [10]) (393 [44])	17 [17] (17 [17])	700 624 (655 624)	1,823 (1,823)	50 (50)	—		
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数						
	268.35㎡		80		38,000						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	359.15㎡		—				—				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度				
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	22,510千円	5,000千円	10,000千円			
	共同研究費等	1,000千円	3,000千円	設備購入費	138,007千円 100,494千円	0千円 25,002千円	10,000千円	消費税の引き上げにより開設前年度に購入 (26)			
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	1,900千円	1,700千円	1,700千円	1,700千円	—千円	—千円					
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金収入など									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	京 都 看 護 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
看護学部 看護学科	4	95	3年次 10	400	学士 (看護学)	1.23	平成26年度	京都府京都市壬生 東高田町1-2-1	
大学の名称	【該当なし】								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	豊田 久美子 (57)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学原論 ・臨床実践と看護理論 ・ケアリングコミュニケーション ・医療コミュニケーション論※ ・医療コミュニケーション論演習 ・看護現象と看護診断 ・国際看護論※ ・代替療法と癒し※ ・課題探求Ⅰ※ 						
専	教授	平 英美 (63)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎ゼミ1 ・基礎ゼミ2 ・家族とジェンダー ・医療・看護倫理※ ・医療コミュニケーション論※ ・医療コミュニケーション論演習 ・現代社会のしくみ ・課題探求Ⅱ 						
専	教授	堀井 とよみ (67)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・看護政策論 ・公衆衛生学 ・公衆衛生看護学 ・課題探求Ⅱ 						
専	教授	田口 豊恵 (52)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎ゼミ1 ・基礎ゼミ2 ・急性期・周術期看護論 ・クリティカルケア論 ・急性期・周術期看護論演習 ・急性期・周術期看護論実習 						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
				<ul style="list-style-type: none"> 課題探求Ⅰ※ 課題探求Ⅱ 課題探求実習 看護技術強化演習 						
専	教授	紙屋 克子 (68)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> 健康回復生活支援概論※ 生活行動回復看護論 生活行動回復看護論演習 						
兼任	講師	紙屋 克子 (67)	平成26年10月	<ul style="list-style-type: none"> 健康回復生活支援概論※ 						
専	教授	山本 明弘 (56)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> 基礎ゼミ1 基礎ゼミ2 精神看護学 精神看護学演習 精神看護学実習 課題探求Ⅰ※ 課題探求Ⅱ 課題探求実習 看護技術強化演習 						
専	教授	井上 深幸 (53)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉 社会資源コーディネート論 高齢者支援論演習 高齢者支援論実習 課題探求Ⅱ 課題探求実習 ケアリングコミュニケーション 看護技術強化演習 			平成27年10月	<ul style="list-style-type: none"> 基礎ゼミ2 基礎ゼミ1 	向上・教員の負担軽減のため、担当教員の増 [平成27年7月 AC教員審査済(28)]	
兼任	講師	井上 深幸 (52)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉 						
専	教授	蝦名 美智子 (68)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> 小児看護学 小児看護学演習 小児看護学実習 課題探求Ⅱ 	兼任	講師	越智一早苗 (67)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> 小児看護学 	健康上の理由で編名教授就任辞退のため、平成27年4月より担当者変更(27)→後任補充まで兼任で対応(28)
					兼任	講師	小島 賢子 (61)	平成28年4月	<ul style="list-style-type: none"> 小児看護学 	
				<ul style="list-style-type: none"> 基礎英語コミュニケーション 中級英語コミュニケーション 						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	森川 展男 (66)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上級英語コミュニケーション1 ・ 上級英語コミュニケーション2 ・ 医学・看護英語リーディング ・ 医学・看護英語語彙 						
兼任	講師	森川 展男 (65)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎英語コミュニケーション ・ 中級英語コミュニケーション 						
専	教授	井下 照代 (69)	平成28年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護管理・経営論※ ・ 課題探求Ⅱ ・ 課題探求実習 ・ 看護技術強化演習 						
専	准教授	伊藤 良子 (56)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎ゼミ1 ・ 基礎ゼミ2 ・ 母性看護学 ・ 母性看護学演習 ・ 母性看護学実習 ・ 代替療法と癒し※ ・ 家族支援論※ ・ 国際看護論実習 ・ 課題探求Ⅱ ・ 課題探求実習 ・ 看護技術強化演習 	専	准教授	千葉 陽子 (46)	平成28年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎ゼミ1 ・ 基礎ゼミ2 ・ 母性看護学 ・ 母性看護学演習 ・ 母性看護学実習 ・ 代替療法と癒し※ ・ 家族支援論※ ・ 国際看護論実習 ・ 課題探求Ⅱ ・ 課題探求実習 ・ 看護技術強化演習 	伊藤准教授。病気を理由に平成28年3月31日辞職 平成28年4月 AC職員審査申請中(28)
専	准教授	久留島美紀子 (45)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎ゼミ1 ・ 基礎ゼミ2 ・ 生活行動援助論Ⅱ ・ 生活行動援助論演習Ⅱ ・ 看護過程論 ・ 生活行動援助論実習Ⅰ ・ 生活行動援助論実習Ⅱ ・ 課題探求Ⅱ ・ 課題探求実習 ・ 看護技術強化演習 						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	相山 委都子 (58)	平成28年4月	<ul style="list-style-type: none"> 健康論 生涯発達論 臨床人間学 小児看護学実習 課題探求Ⅱ 課題探求実習 看護技術強化演習 				平成27年10月	<ul style="list-style-type: none"> 小児看護学演習 小児看護学 	健康上の理由により、専任教授就任辞退のため2科目追加の上、半年繰り上げて採用 平成27年7月 AC教員審査済(28)
兼任	講師	相山 委都子 (56)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> 健康論 生涯発達論 臨床人間学 						相山准教授、病気を理由に平成28年3月31日辞職 後任は、7月のAC教員審査のため6月提出予定(28)
専任	准教授	山岸 千恵 (59)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> 医療・看護倫理※ 在宅支援論 在宅支援論演習 在宅支援論実習 課題探求Ⅱ 課題探求実習 看護教育論 看護技術強化演習 				平成27年10月	<ul style="list-style-type: none"> 基礎ゼミ2 基礎ゼミ1 	質向上・教員の負担軽減のため、担当教員の増 平成27年7月 AC教員審査済(28)
兼任	講師	山岸 千恵 (58)	平成26年10月	<ul style="list-style-type: none"> 医療・看護倫理※ 						
専任	准教授	澤井 信江 (50)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> 看護管理・経営論※ 看護キャリア開発論 課題探求Ⅱ 医療安全 課題探求実習 看護技術強化演習 						
専任	准教授	盛永 美保 (40)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> 健康回復生活支援概論※ 基礎ゼミ1 基礎ゼミ2 生活行動回復看護論演習 生活行動回復看護論実習 課題探求Ⅱ 課題探求実習 看護技術強化演習 				平成27年10月	<ul style="list-style-type: none"> ヘルス・フィジカルアセスメント 	質向上・教員の負担軽減のため、担当教員の増 平成27年7月 AC教員審査済(28)
専任	准教授	弓田 洋子 (62)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者支援論 高齢者支援論演習 高齢者支援論実習 				平成27年10月	<ul style="list-style-type: none"> 基礎ゼミ2 基礎ゼミ1 	質向上・教員の負担軽減のため、担当教員の増 平成27年7月 AC教員審査済(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
				<ul style="list-style-type: none"> 課題探求Ⅱ 総合実習 看護技術強化演習 						
専	准教授	中島 優子 (50)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> 基礎ゼミ1 基礎ゼミ2 セルフケア支援論※ セルフケア支援論演習 セルフケア支援論実習 緩和ケア論※ 緩和ケア論実習 総合実習 課題探求Ⅱ 看護技術強化演習 	専	准教授	中島 優子 (50)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> 基礎ゼミ1 基礎ゼミ2 セルフケア支援論 セルフケア支援論演習 セルフケア支援論実習 緩和ケア論※ 緩和ケア論実習 総合実習 課題探求Ⅱ 看護技術強化演習 	一身上の都合により、有吉講師就任待避のため1人で担当 平成27年1月 AC教員審査済(27)
専	講師	岡本 寿子 (50)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> 基礎ゼミ1 基礎ゼミ2 生活行動援助論Ⅰ 生活行動援助論演習Ⅰ ヘルス・フィジカルアセスメント 生活行動援助論実習Ⅰ 生活行動援助論実習Ⅱ 課題探求Ⅱ 総合実習 看護技術強化演習 						
専	講師	田村 葉子 (40)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> 基礎ゼミ1 基礎ゼミ2 急性期・周術期看護論演習 急性期・周術期看護論実習 総合実習 課題探求Ⅱ 看護技術強化演習 						
専	講師	鯉坂 由紀 (38)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> 基礎ゼミ1 基礎ゼミ2 生活行動援助論演習Ⅰ 生活行動援助論演習Ⅱ 看護リフレク 				平成27年6月	<ul style="list-style-type: none"> 生活行動援助論Ⅰ 	買向上・教員の負担軽減のため、担当教員の増 平成27年4月 AC教員審査済(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
				<ul style="list-style-type: none"> ・ ション ・ 生活行動援助論実習Ⅰ ・ 生活行動援助論実習Ⅱ ・ 総合実習 ・ 課題探求Ⅱ ・ 看護技術強化演習 						
専	講師	高橋 康子 (52)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎ゼミ1 ・ 基礎ゼミ2 ・ 精神看護学演習 ・ 精神看護学実習 ・ 総合実習 ・ 課題探求Ⅱ ・ 看護技術強化演習 						
専	講師	中堀 裕代 (47)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母性看護学演習 ・ 母性看護学実習 ・ 総合実習 ・ 課題探求Ⅱ ・ 看護技術強化演習 			平成27年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎ゼミ2 ・ 基礎ゼミ1 	買向上・教員の負担軽減のため、担当教員の増 [平成27年7月 AC教員審査済 (28)]	
専	講師	福田 里砂 (39)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康回復生活支援概論※ ・ 生活行動回復看護論演習 ・ 生活行動回復看護論実習 ・ 代替療法と癒し※ ・ 総合実習 ・ 課題探求Ⅱ ・ 看護技術強化演習 			平成28年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎ゼミ1 ・ 基礎ゼミ2 	本務校の都合により、就任が10月に遅延 (27) 買向上・教員の負担軽減のため、担当教員の増 [平成28年1月 AC教員審査済 (28)]	
兼任	講師	福田 里砂 (38)	平成26年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康回復生活支援論※ 						
専	講師	中森 美季 (34)	平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ セルフケア支援論演習 ・ セルフケア支援論実習 ・ 緩和ケア論※ ・ 緩和ケア論実習 ・ 総合実習 ・ 課題探求Ⅱ ・ 看護技術強化演習 			平成28年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎ゼミ1 ・ 基礎ゼミ2 	買向上・教員の負担軽減のため、担当教員の増 [平成28年1月 AC教員審査済 (28)]	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	有吉 玲子 (52)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> セルフケア支援論※ セルフケア支援論演習 セルフケア支援論実習 課題探求Ⅱ 総合実習 看護技術強化演習 	専	助教	今堀 智恵子 (46)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> セルフケア支援論演習 緩和ケア論 セルフケア支援論実習 緩和ケア論実習 総合実習 看護技術強化演習 	平成27年4月 AC教員審査申請中済 (27) (28)
専	助教	武田 未央 (41)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> 在宅支援論実習 国際看護論※ 国際看護論実習 災害看護論※ 災害看護技術演習 総合実習 課題探求Ⅱ 看護技術強化演習 						
専	助教	三林 聖司 (45)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> 精神看護学演習 精神看護学実習 総合実習 看護技術強化演習 	専	講師	三林 聖司 (46)	平成28年10月	<ul style="list-style-type: none"> 精神看護学演習 精神看護学実習 総合実習 看護技術強化演習 基礎ゼミ2 基礎ゼミ1 	教員の昇格 平成28年4月 AC教員審査申請中 (28)
専	助教	日吉(谷口) 和子 (43)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援論※ 高齢者支援論演習 高齢者支援論実習 総合実習 看護技術強化演習 						
専	助教	東 真理 (44)	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> 生活行動援助論演習Ⅱ 生活行動援助論実習Ⅱ 総合実習 看護技術強化演習 						東助教、家庭の事情により、平成27年12月辞職 (28) 後任は、7月のAC教員審査のため、6月提出予定 (28)
専	助教	笹谷 絵里 (34)	平成28年4月	<ul style="list-style-type: none"> 小児看護学実習 総合実習 看護技術強化演習 				平成28年10月	<ul style="list-style-type: none"> 小児看護学演習 	買向上・教員の負担軽減のため、担当教員の増 平成28年1月 AC教員審査済 (28) 家庭の事情により、就任辞退 後任は、11月のAC教員審査のため、10月提出予定 (28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	松本 亮 (39)	平成27年4月	・クリティカルシンキング						
兼任	講師	林 由華 (32)	平成26年4月	・基礎英語コミュニケーション ・中級英語コミュニケーション	兼任	講師	西村 開浩 (41)	平成26年10月	・基礎英語コミュニケーション ・中級英語コミュニケーション	産休期間(平成28年後期～平成27年前期)の臨時担当 平成28年度から講義方法統一のため専任教員(1名)で対応(28)
兼任	講師	三木 訓子 (53)	平成26年4月	・基礎英語コミュニケーション ・中級英語コミュニケーション	兼任	講師	吉村 幸利子 (50)	平成26年4月	・基礎英語コミュニケーション ・中級英語コミュニケーション	本人の都合による変更(26) 平成28年度から講義方法統一のため専任教員(1名)で対応(28)
兼任	講師	ジョージジューク (42)	平成27年4月	・上級英語コミュニケーション1 ・上級英語コミュニケーション2	兼任	講師	シブリーナブハン (50)	平成27年4月	・上級英語コミュニケーション1 ・上級英語コミュニケーション2	本人の都合による変更(27) 平成28年度から講義方法統一のため専任教員(1名)で対応
兼任	講師	富田 愛佳 (35)	平成27年4月	・基礎中国語コミュニケーション ・中級中国語コミュニケーション	兼任	講師	井上 千暖 (28)	平成28年4月	・基礎中国語コミュニケーション ・中級中国語コミュニケーション	本人の都合による変更(28)
兼任	講師	大賀 まゆみ (53)	平成29年4月	・医学・看護英語リーディング ・医学・看護英語語彙						
兼任	講師	大栗 真利子 (61)	平成26年4月	・スポーツとコミュニケーション						
兼任	講師	柳川 育子 (65)	平成29年4月	・保健統計学						
兼任	講師	馬込 武志 (46)	平成26年4月	・情報リテラシー ・暮らしの中の統計処理 ・関係法規	兼任	講師	韓 先花 (38)	平成27年4月	・情報リテラシー	本人の都合による変更(27)
					兼任	講師	高畑 貴志 (45)	平成28年4月	・情報リテラシー	本人の都合による変更(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	渡邊 浩一 (32)	平成26年4月	・哲学と倫理	兼任	講師	豊川 祥隆 (36)	平成28年4月	・哲学と倫理	本人の都合による変更(28)
兼任	講師	佐藤 泰子 (54)	平成26年4月	・生命の科学 ・死生学						
兼任	講師	石塚 小久良 (35)	平成26年10月	・芸術と感性※						
兼任	講師	細井 信宏 (44)	平成26年10月	・芸術と感性※						
兼任	講師	鈴木 智子 (47)	平成26年10月	・芸術と感性※						
兼任	講師	小島 隆次 (40)	平成26年4月	・人間関係の心理学						
兼任	講師	相澤 伸幸 (47)	平成29年10月	・生涯学習論						
兼任	講師	吉野 世美子 (60)	平成26年4月	・日常生活の科学 ・栄養学	兼任	講師	持丸 由香 (30)	平成26年4月	・日常生活の科学 ・栄養学	本人の都合による変更(26)
兼任	講師	須永 知彦 (49)	平成29年4月	・法からみる医療						
兼任	講師	佐野 洋史 (39)	平成29年4月	・経済からみる医療						
兼任	講師	兼重 努 (52)	平成26年10月	・京都の文化と暮らし	兼任	講師	山内 熱人 (34)	平成27年10月	・京都の文化と暮らし	本務校の都合による変更(27)
兼任	講師	岩隈 美穂 (45)	平成26年4月	・異文化コミュニケーション論						
兼任	講師	伊藤 信行 (65)	平成26年10月	・形態機能学Ⅱ(生化学)						
兼任	講師	岸 正 (63)	平成26年4月	・微生物学 ・薬理学						
兼任	講師	武内 英二 (63)	平成26年10月	・病理学概論	兼任	講師	竹井一雄介 (38)	平成26年10月	・病理学概論	本人の都合による変更(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	伊東 森子 (57)	平成27年10月	・病理学概論※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	伏木 信次 (68)	平成27年10月	・病理学概論※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	藤本 崇宏 (39)	平成27年10月	・病理学概論※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	丹藤 創 (44)	平成27年10月	・病理学概論※	本人の都合による変更(28)
兼任	講師	三島 克之 (50)	平成26年10月	・疾病と治療 I ※	兼任	講師	三橋 尚志 (59)	平成26年10月	・疾病と治療 I ※	本人の都合による変更(27)
兼任	講師	坂井 陽祐 (40)	平成26年10月	・疾病と治療 I ※ ・疾病と治療 II ※	兼任	講師	橋山 重威 (77)	平成26年10月	・疾病と治療 I ※	本人の都合による変更(27)※
					兼任	講師	中村 敬哉 (53)	平成27年10月	・疾病と治療 I ※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	林 孝徳 (42)	平成27年10月	・疾病と治療 I ※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	江村 正仁 (58)	平成27年10月	・疾病と治療 I ※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	小林 祐介 (38)	平成27年10月	・疾病と治療 I ※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	宮原 亮 (63)	平成27年10月	・疾病と治療 I ※	本人の都合による変更(28)
兼任	講師	林 秀明 (58)	平成26年10月	・疾病と治療 I ※ ・疾病と治療 II ※	兼任	講師	渡本 一仁 (66)	平成26年10月	・疾病と治療 I ※	本人の都合による変更(27)※
					兼任	講師	岡田 隆 (62)	平成27年10月	・疾病と治療 I ※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	高宮 充孝 (52)	平成27年10月	・疾病と治療 I ※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	中島 規雄 (48)	平成27年10月	・疾病と治療 I ※	本人の都合による変更(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	中村 陵子 (52)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅰ ※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	津端 英雄 (43)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅰ ※	本人の都合による変更(28)
兼任	講師	真弓 健治 (50)	平成27年4月	・ 疾病と治療Ⅱ ※	兼任	講師	遠藤 善裕 (57)	平成27年4月	・ 疾病と治療Ⅱ	本人の都合による変更(27)
兼任	講師	上野 宏行 (42)	平成27年4月	・ 疾病と治療Ⅱ ※						
兼任	講師	周藤 文明 (54)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	兼任	講師	野崎 浩二 (55)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	本人の都合による変更(27)
					兼任	講師	鶴見 文俊 (43)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	田中 篤志 (40)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	北村 直行 (53)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	本人の都合による変更(28)
兼任	講師	高橋 潤 (55)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	兼任	講師	村井 望 (58)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	宮澤 泰輔 (59)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	本人の都合による変更(28)
兼任	講師	広川 慶裕 (60)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	兼任	講師	小西 啓介 (58)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	本人の都合による変更(28)
					兼任	講師	三重野洋喜 (48)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	本人の都合による変更(28)
兼任	講師	関山 有紀 (39)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	兼任	講師	豊田健一郎 (43)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	本人の都合による変更(28)
兼任	講師	千草 義継 (36)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	兼任	講師	田中 啓一 (66)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	本人の都合による変更(27)
					兼任	講師	山本 浩之 (53)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	本人の都合による変更(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	森崎 秋乃 (39)	平成27年10月	・ 疾病と治療Ⅲ ※	本人の都合による変更 (28)
兼任	講師	岩田 津貴子 (50)	平成26年10月	・ 臨床心理学	兼任	講師	樋口 智嘉子 (48)	平成26年10月	・ 臨床心理学	本人の都合による変更 (28)
兼任	講師	小松 智子 (61)	平成29年4月	・ 災害看護論※ ・ 災害看護技術演習						
兼任	講師	石田 英實 (74)	平成26年4月	・ 形態機能学Ⅰ (解剖生理学) ・ 形態機能学Ⅱ (解剖生理学)						
兼任	講師	西川 洋子 (59)	平成29年10月	・ 代替療法と癒し※						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	8	8	5	31	9	6	7	4	26	10	8	8	5	31
(4)	(5)	(5)	(1)	(15)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授 65	6	6
准教授 63		
その他 60		
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	蝦名 美智子	必修	小児看護学	①	健康上の理由のため就任辞退（27）				
			必修	小児看護学演習	①					
			必修	小児看護学実習	①					
			必修	課題探求Ⅱ	①					
2	講師	有吉 玲子	必修	セブツ支援論	①	一身上の都合のため就任辞退（27）				
			必修	セブツ支援論演習	①					
			必修	セブツ支援論実習	①					
			必修	課題探求Ⅱ	①					
			必修	総合実習	①					
3	助教	笹谷 絵里	必修	小児看護学演習	①	家庭の事情のため就任辞退（28）				
			必修	小児看護学実習	①					
			必修	総合実習	①					
			必修	看護技術強化演習	①					
合計（A）				後任補充状況の集計（B）						
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人	必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	14	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	伊藤 良子	必修	基礎ゼミ 1	①	健康上の理由のため辞任（28）
			必修	基礎ゼミ 2	①	
			必修	母性看護学	①	
			必修	母性看護学演習	①	
			必修	母性看護学実習	①	
			選択	代替療法と癒し	①	
			選択	家族支援論	①	
			選択	国際看護論実習	①	
			必修	課題探求Ⅱ	①	
			必修	課題探求実習	①	
			必修	看護技術強化演習	①	
2	准教授	相山委都子	必修	健康論	①	健康上の理由のため辞任（28）
			必修	生涯発達論	①	
			選択	臨床人間学	①	
			必修	小児看護学	①	
			必修	小児看護学演習	①	
			必修	小児看護学実習	①	
			必修	課題探求Ⅱ	①	
			必修	課題探求実習	①	
3	助教	東 真理	必修	看護技術強化演習	①	家庭の事情のため辞任（28）
			必修	生活行動援助論演習Ⅱ	①	
			必修	生活行動援助論実習Ⅱ	①	
			必修	総合実習	①	
			必修	看護技術強化演習	①	

合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3 人	必修	20 科目	必修	20 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	24 科目	計	24 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
6 人	必修	34 科目	必修	34 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	38 科目	計	38 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 6名の専任教員辞任等については、正当な理由のため承認せざるを得ないと判断した。講師の後任については、昨年4月のAC教員審査に諮り補充済みで、その他は、本年4月又は7月のAC教員審査に諮り、後任補充する予定である。</p> <p>「学生への周知方法」 学生への周知方法は、ホームページ上のシラバス、新学期開始前のオリエンテーションや初回の講義日に教員を紹介している。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>設 置 時 (25年10月)</p>	<p>1. 設置の趣旨・目的等が活かされるよう設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制にふさわしい教育活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>2. 完成年度前に定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること。</p> <p>(その他意見) 「国際看護論実習」を履修する学生に対してドイツ語の学修を週1回、合計15回行い、その内容が大学教育に相応しいのであれば、単位授与についても検討することが望ましい。</p>		<p>設置計画時のカリキュラムどおり教育活動を実施しています。(26)(27)(28)</p> <p>看護師養成を目的としているため、臨地実習を受講できる要件(指定した必修科目の単位取得など)をクリアできない学生は、留年として単位の取得ができるよう教育を行っている。(28)</p> <p>教員組織編成の将来構想については、申請時に6名の教員が後期博士課程に在籍していましたが、3名が博士学位取得済みです。</p> <p>その他の教員には計画どおり学位取得ができるよう支援していきます。</p> <p>「国際看護論実習」は、4年次前期の授業科目で単位授与については、授与することで進めていきます。</p>	

設置計画履行状況 調査時 (27年2月)		該当なし		
設置計画履行状況 調査時 (28年2月)		該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど												
<p>① 入学者選抜の概要 平成27年度以降は、大学入試センター試験を利用した入学者確保を目指す。</p> <p>② 実習の具体的計画</p> <table border="0"> <tr> <td>病院</td> <td>11施設</td> </tr> <tr> <td>訪問看護ステーション</td> <td>4施設</td> </tr> <tr> <td>保育園</td> <td>2施設</td> </tr> <tr> <td>老人福祉施設</td> <td>2施設</td> </tr> <tr> <td>老人保健施設</td> <td>2施設</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>21施設</td> </tr> </table>	病院	11施設	訪問看護ステーション	4施設	保育園	2施設	老人福祉施設	2施設	老人保健施設	2施設	総計	21施設	<p>平成27年度入試から、大学入試センター試験を利用した入学者確保を行った。(27)</p> <p>臨地実習施設の充実と学生数に応じたきめ細やかな指導を図るため、病院数を平成26年度に3施設、平成27年度に4施設の協力をいただき病院18施設、総計28施設として実習を行った。(27)</p> <p>平成28年度に病院1施設、訪問看護ステーション1施設、保育園1施設、老人福祉施設1施設のご協力をいただき、総計32施設として実習を行っていく。</p>
病院	11施設												
訪問看護ステーション	4施設												
保育園	2施設												
老人福祉施設	2施設												
老人保健施設	2施設												
総計	21施設												

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a FD委員会の設置</p> <p>b 委員会の開催状況 6回</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 教育内容、方法等の改善に関する事項</p> <p>(2) FDの実施に関する事項</p> <p>(3) FDに関する報告書の作成、公表に関する事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iPadを活用したITC教育 ・ 事例に学ぶ職場のパワーハラスメント ・ 波床将材先生講演「自殺予防について」 ・ 大学教育における各領域の看護技術到達度表のあり方と具体的な点検について <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学内研修会 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p>

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業や生活支援について看護学教育の特質を踏まえた有効なFDを計画的に実施しており、評価分析について検討を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 実施済み ・ 前期と後期の全開講科目について、それぞれ最終講義日に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業アンケートの結果を集計して各教員に渡し、リフレクションペーパーにて提出してもらい次年度の授業改善に資する。
- ・ 学生への公開はどのように行うか継続して検討する。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

京都看護大学 FD 委員会規程

(趣 旨)

第1条 京都看護大学学則第2条第1項に基づき、教育研究等水準の向上を図るため京都看護大学FD（ファカルティ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という）を置く。

(目 的)

第2条 委員会は、教育の理念や目的に照らし、教育活動及び研究活動の状況を点検、評価し、教員の教育内容や教育方法の改善を図ることを目的とする。

(組 織)

第3条 委員会は委員若干名をもって組織する。

2 委員長は学長が任命する。

3 委員長に事故ある時は、あらかじめ委員長の指名を受けた委員がその職務を代行する。

4 委員は、教授会の互選による。

(任 期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任は連続2期までとする。

2 委員に欠員が生じた場合は補欠委員を置くことができる。補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会 議)

第5条 委員会は委員長が召集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

3 委員長は、委員の3分の1以上から要請があった場合は、委員会を開かなければならない。

4 委員会は、必要に応じて委員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる。

(所掌事項)

第6条 委員会は次に掲げる事項を所掌する。

(1) 教育内容、方法等の改善に関する事項

(2) FDの実施に関する事項

(3) FDに関する報告書の作成、公表に関する事項

(4) その他FDに関し、教授会が付託する事項

(事務所管)

第7条 委員会に関する事務は、総務課が所管する。

(その他)

第8条 この規程の定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が委員に諮って定める。

附 則

1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

大学開設年度（平成26年度）に自己点検・評価等に関する委員会を立ち上げ活動を開始しており、平成27年度には大部分の教員が就任し委員構成を確定した上で出来る項目から自己点検・評価作業に取り組むこととする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年8月末 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関に配付するとともに希望する学生に配布する予定
・大学ホームページ上に公開予定（平成28年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・完成年度（平成29年度）後に評価をうけるべく評価機関を何処にするか学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (年 月 日)